

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年8月23日（月）
- 2 確認箇所
物揚場
- 3 確認項目
港湾内での魚類採取作業の状況

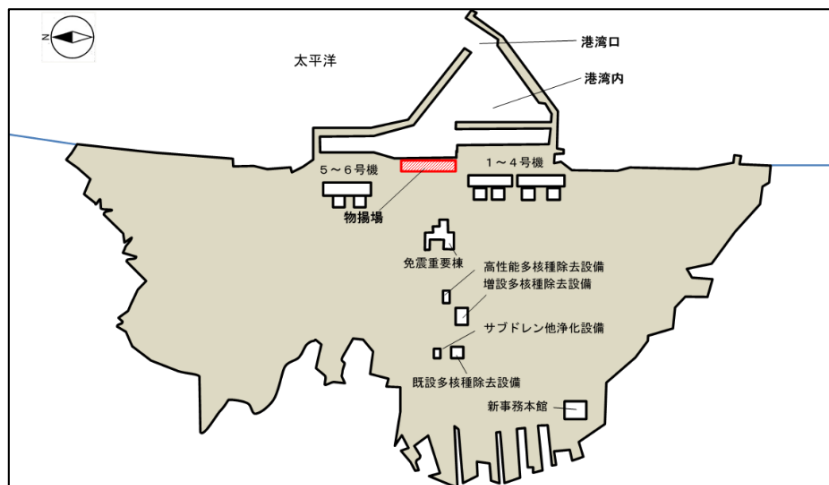
4 確認結果の概要

東京電力では事故発生当時、高濃度汚染水が港湾内に流出した事象等を受けて、魚介類への影響やその経過を確認するため、福島第一原子力発電所の周辺20km圏内で採取した魚介類の分析を実施している。

今回は、港湾内に設置している底刺し網による魚類採取作業の状況を確認した。（図1）

東京電力によれば、港湾内の底刺し網は港湾口に3箇所（港湾口底刺し網）、港湾内部に5箇所（港湾内底刺し網）設置されており、港湾口の3箇所は週に1回、港湾内の5箇所は週に2回魚類の捕獲状況等を確認している。

- ・現場では2隻の船で作業をしており、先に出向した船が港湾口底刺し網を、続けて出向した船が港湾内底刺し網を回収していた。作業員は海上で魚の捕獲状況等を確認し、再度底刺し網を設置していた。（写真1）
- ・底刺し網の回収後、港湾内に設置された魚類移動防止網を交換するため、起重機船が入港した。（写真2）
- ・作業後に作業記録を確認したところ、今回の作業では数匹の魚が捕獲されていた。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
港湾口底刺し網を回収に向かう船の
状況
(物揚場から撮影)



(写真1-2)
港湾内底刺し網回収作業の状況
(物揚場から撮影)



(写真2-1)
入港した起重機船の状況
(物揚場から撮影)



(写真2-2)
交換用の魚類移動防止網の状況
(物揚場から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。